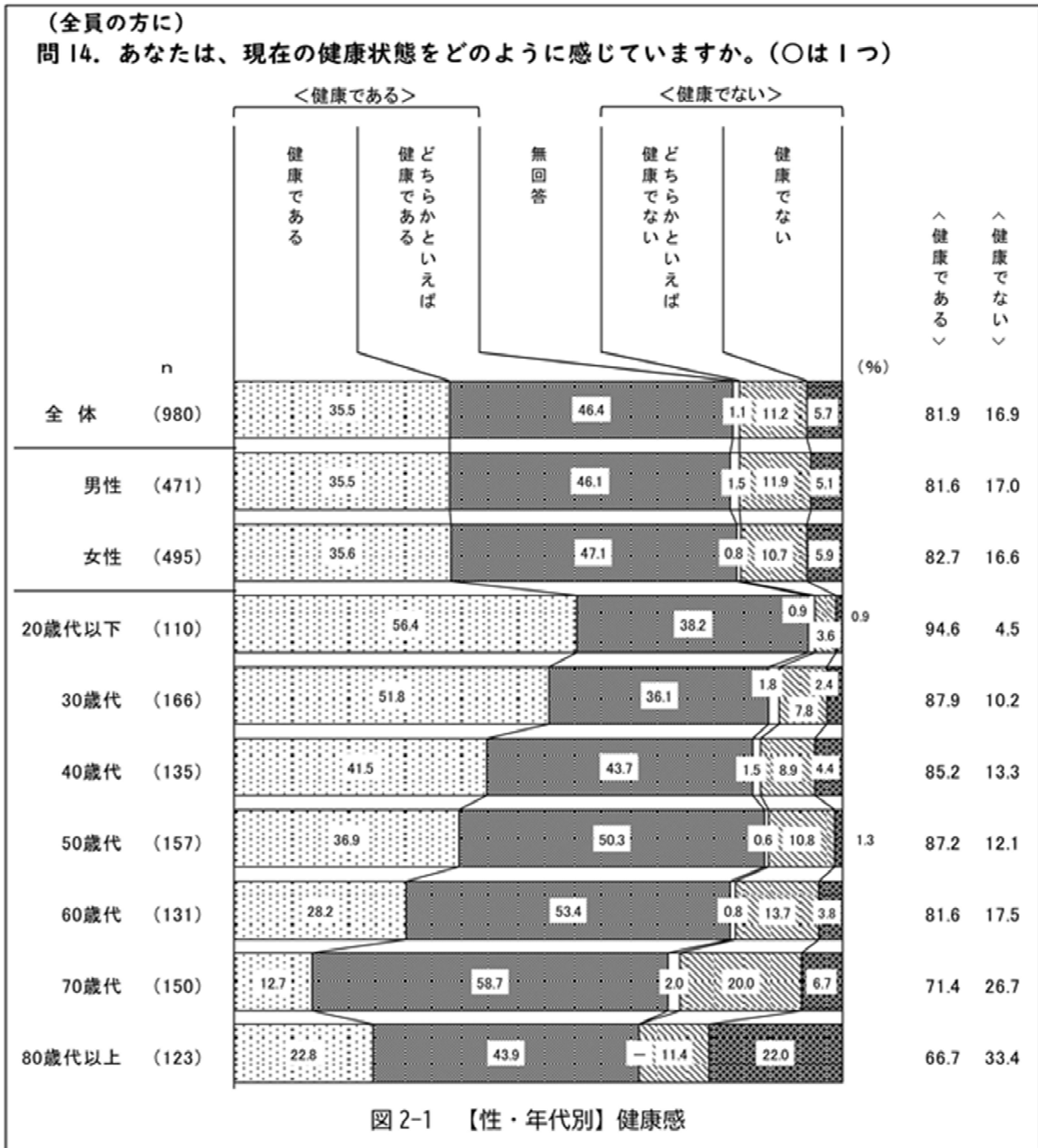


令和4年度健康福祉に関する意識調査報告書（健康観について）

2. 医療・健康について

2.1. 健康感

◆<健康である>と感じる人の割合は年代が上がるにつれ減少傾向



現在の健康状態をどのように感じているかについては、「健康である」(35.5%)と「どちらかといえば健康である」(46.4%)を合わせた<健康である>で81.9%となっている。年代別にみると、<健康である>は50歳代を除き、年代が上がるほど減少している。

■年代別 「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合

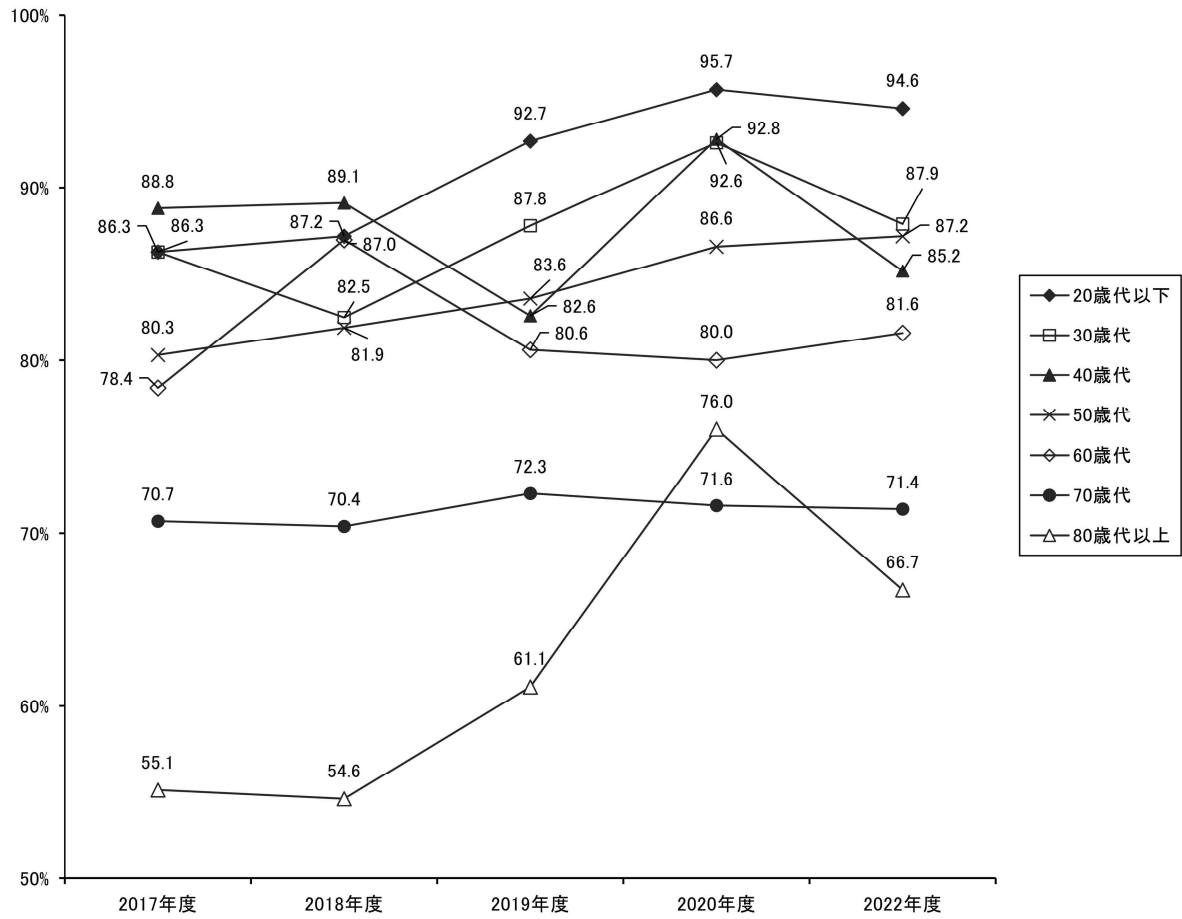


図 2-2 【経年比較】健康感

経年で比較すると、2022年度は2020年度と比べ「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合が、50歳～60歳代を除く年代で減少しており、特に80歳代以上で大きく減少している。